

# 情報学委員会 国際サイエンスデータ分科会

## WDS小委員会（第26期・第3回）

### 議 事 要 旨

日 時 令和7年3月24日（月）10:00～12:00

会 場 オンライン会議（ZOOM）

出席者（計16名）：

後藤、近藤、村山、芦野、池内、海老沢、門倉、北本、金尾、白井、陣、能勢、  
花岡、橋口、原、三好 各委員

欠席者（計4名）：

永崎、林、松岡 Liu 各委員

オブザーバ参加者（計3名）：

澁谷 遊野（東京大学大学院 情報学環・学際情報学府・准教授）、  
田中 良昌（情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設・准教授）、  
渡邊 堯（茨城大学・名誉教授）

### 議事要旨

#### （1）関連会合・活動の報告

- ✓ 「WDS科学委員会（WDS-SC）の活動報告」について、村山委員長より資料1に基づき、WDS-SCの最近の活動や3月4日にリリースされたWDS Action Plan 2025-2027が紹介された。
- ✓ 「WDS若手研究者ネットワーク（WDS-ECR）の活動報告」について澁谷氏より資料2を基に説明された。渡邊氏より日本は他国と比べてもECRの人材が少ないためECRより若い人達を支援する観点を取り入れて頂きたいとコメントがあった。近藤委員からは領域やトピックごとに活動されている若手研究者のネットワークに対する連携の取り方について質問があり、澁谷氏からオンラインウェビナーやシンポジウムでのセッションの企画などを主に行っていると回答があった。
- ✓ 「WDS小委員会メンバーによる関連センター等の近況報告」に関して、橋口委員から資料3に基づき京大生存圏研究所の生存圏データベースの近況が紹介された。村山委員長から材鑑標本の相互利用について質問があり、橋口委員から森林総研と互いに無い標本を補完し合って両機関で見られるように連携していると回答があった。
- ✓ 「WDSネットワークメンバー加入手続き現況」について、田中氏から資料4に基づき超高層大気長期変動の全球地上観測・研究ネットワーク（IUGONET）が行った手続きの紹介と、門倉委員から資料5に沿って情報・システム研究機構データサイエン

ス共同利用基盤施設（ROIS-DS）の紹介があり、両者ともWDSネットワーク会員に加盟が正式に承認されたことが報告された。村山委員長と渡邊氏からは、加盟審査の過程で（WDS細則には要件として記載があるものの）CoreTrustSeal認証が要求されなかったことについて、異分野で複数リポジトリを含むネットワーク会員に対しては同基準を満たすことが困難なためハードルを下げているのではないかとコメントがあった。また、村山委員長からデータベースの蓄積・維持と、AI等を使ったデータ活用のどちらに注力してるか質問があり、門倉委員からROIS-DSとしては後者に重点を置き、前者はそのデータに関連するROISの各組織が担っていると回答があった。

- ✓ 「CODATA関連の近況報告」について芦野委員から資料6（事前配布資料から更新）に基づき説明された。村山委員長からCODATAの活動について、理工系研究の基礎である物理定数や単位系の更新に関する取組や、多様な貢献を含めた研究評価の見直しに関する議論など重要な活動があることが強調された。研究評価の見直しに関しては、白井委員と能勢委員からDORA（San Francisco Declaration on Research Assessment）とCoARA（Coalition for Advancing Research Assessment）の関係について議論があり、両者の目指す方向は同じだが、前者は米国で発足した宣言であり、後者は欧州委員会で発足しDORAに対して具体的に行動する組織である等の違いがあることが確認された。
- ✓ 「データサイエンス国際シンポジウム（DSWS-2023）特集号（Data Science Journal, Special Collection）の出版準備状況」について金尾委員から資料7に基づき説明があった。村山委員長から論文の公開方法について質問があり、金尾委員から公開済の特集号ウェブサイトには査読が完了した論文から随時追加する旨の回答があった。また、村山委員長からDSWS-2023の開催が上手く行われたと好評を博していたことがコメントされた。
- ✓ 日本学術会議が令和6年11月に公表した「第7期科学技術イノベーション基本計画に向けての提言」（林委員が分科会委員長として取りまとめに寄与）について村山委員長から資料8に基づき説明があり、データ科学、オープンサイエンスの役割を含めた4つの提言について紹介があった。

## （2）関連会合・活動の予定

- ✓ 「科学データ研究会・WDS国内シンポジウム（第12回）合同研究会（3月24日午後、オンライン）」について渡邊氏から資料9に基づき研究会の趣旨やプログラムが紹介された。
- ✓ 「ジャパン・オープンサイエンス・サミット2025（6月23-27日、オンライン）」について芦野委員から資料10に基づき開催日程や準備状況が説明された。
- ✓ 「WDS Asia-Oceania Conference 2025（9月8-12日、於：Beijing, China）」について渡邊氏から資料11に基づき紹介され、5日のうちセッションは2日間であることや開催内容の詳細は未定であることの説明があった。
- ✓ 「International Data Week 2025（10月13-16日、於：Brisbane, Australia）」について金尾委員から資料12に基づいて説明があり、期間中にWDSとCODATAが共同開催するSciDataConとその前後にWDS member's forumやCODATA総会が予定されていること、またSciDataConについてはセッションや口頭発表の申込締切が4月15日（ポスター発表は5月15日）であり、金尾委員もコンピーナーの一人としてAsia-Oceaniaのオープンデータ活動に関するセッションを申請予定であることが紹

介された。

- (3) その他  
特に無し。

(以 上)

#### 配布資料

- 資料 1 : WDS-SC 関連報告
- 資料 2 : WDS-ECR について
- 資料 3 : 京大 RISH における生存圏データベース
- 資料 4 : 超高層大気長期変動の全球地上ネットワーク観測・研究 (IUGONET) の WDS ネットワークメンバー加入手続き現況
- 資料 5 : 情報・システム研究機構データサイエンス共同利用基盤施設 (ROIS-DS) の WDS ネットワークメンバーへの加盟について
- 資料 6 : 2024 年度 CODATA の活動 (概要)
- 資料 7 : International Symposium on Data Science (DSWS-2023) 特集号
- 資料 8 : 第 7 期科学技術・イノベーション基本計画に向けての提言
- 資料 9 : 科学データ研究会－WDS 国内シンポジウム (第 1 2 回)
- 資料 1 0 : Japan Open Science Summit 2025
- 資料 1 1 : WDS Asia-Oceania Conference 2025
- 資料 1 2 : International Data Week 2025